

発表⑧ 奥越・坂井ブロック代表

「この世界に恵みを」 坂井市立丸岡南中学校 3年 水野 梨那（みずの りな）

日本は他の国に比べて豊かな国だと思います。なぜなら、全てのトイレが水洗トイレであり清潔に保たれているからです。また、きれいな水を飲めることなど日本は本当に恵まれています。

私の母の故郷はロシアの貧しい村です。私とその村を訪れたときのトイレはくみ取り式のトイレで、中をのぞくと排泄物が見えて、気分が悪くなりました。また、そこから出る臭いもひどくて、毎回トイレに行こうとするたびに、心の中では嫌だなと思いつつトイレに行かなければなりません。それに比べて、水洗トイレはとても清潔に保たれ、臭いも少なく気軽にトイレができます。現地の人はそのことに慣れていると思いますが、私は慣れるまでに時間がかかりました。飲み水に関しては大きなトラックに沢山の水が積まれており、そこから大きなバケツに入れてもらいます。しかし、その水を見てみると小さなゴミが入っていたり、底に泥が溜まっていたりして、その飲み水を飲むには沸騰させてから飲まなければなりません。時間がかかるので水を飲むことだけでも大変です。それに比べて日本の水は既に消毒されていて、蛇口をひねればそのまま飲めるようになっています。もうこの時点で気づいている人もいるかもしれませんが、母の村にはまず水道すら通っていないのです。だから、シャワーを浴びることもできません。そこで、石を熱してその上に熱が伝わりやすい桶などに水を入れてお湯にしてから頭や体を洗っています。

都市部に近いところでは水道が通っていますが、世界の貧困地域では、満足にご飯を食べられずに餓死してしまったり、病気にかかってもお金が無くて治療を受けることができずに死んでしまったりする人もいます。

この貧困から人々を救うために私たちができることは沢山あります。例えば、募金をしたり、ペットボトルのキャップを集めたりすることです。自分たちのちょっとした行動が世界の平和につながるかもしれません。

私の学校では、毎年何回か募金をする機会があります。災害が起こり困っている地域や貧しい人たちに募金をします。私はこの募金に毎回500円募金をします。決して高い金額ではありませんが、私の募金が少しでも役に立つといいなと思いつつ募金をします。

私は好き嫌いがはっきりしており、また、食わず嫌いもあります。だから家でご飯を食べる時に嫌いな食べ物があると残してしまうことがあります。自分ではダメなことは分かっているけれど、それでも食べられませんでした。しかし、ある日のこと偶然あるドキュメンタリー番組が流れてきました。ご飯も満足に食べられず、汚い水を飲んでいる小さな子供を見て、私は本当に自分が情けないと思いました。その日を機に、私は嫌いな食べ物と向き合い、頑張って食べるようになりました。私が嫌いな食べ物をきちんと食べた程度でこの貧困は改善しません。しかし、食べられない子の分まできちんと食べ物に感謝をしたいと思います。

日本は本当に恵まれています。最近、きれいな水を飲めること、食べ物を十分に食べられることが当たり前かもしれませんが、貧しい国では十分に食べられません。まず、私たちはそのことについて、自分は恵まれている、と改めて感謝したいです。今も食べ物を食べられずに死んでいく人がいるかもしれません。ですが、私たちが協力をして募金をするなどの行動を起こし、この地球に住んでいる人たち皆を幸せにする努力をしたいです。私たちはまだまだ子供ですが、自分ができることを探していきたいです。